

## 文化・芸術



Form Kirryu #40

2020年、インクジェットプリント  
空間サイズ  
(作家蔵)

石内 都 (1947年)

### 企画展「石内都 STEP THROUGH TIME」から 《名画の扉》

作家自らの時間の交差が写されています。幼少期の鮮烈な記憶をよみがえらせてくる錦桜橋の上でシャッターが切られました。橋も自身も同じ濃度のシルエットで止まっています。時が経過し、橋はかつての面影を残さず。その視線は、いつか歩いた河原に向けられています。

石内都さんは、一貫して、場所と時間との関係性の中から作品を生み出してきました。桐生には、「いたるところに時代の忘れ物が点在する」と語ります。「時が経(た)ち、時が放つ意味を受け」ながら、石内さんの世界はこれからも常に新たな展開を続けていくことでしょう。

企画展「石内都 STEP THROUGH TIME」は、15日(日)まで。

(小此木)